

近畿地方整備局 滋賀国道事務所
資料配布

配 布	平成 1 7 年 6 月 2 4 日
日 時	1 0 時 0 0 分

件 名	国道 8 号愛知川町内における道路陥没事故の調査結果について
-----	--------------------------------

概 要	5 月 2 8 日に発生した国道 8 号の道路陥没事故について、陥没調査委員会による調査結果がまとまりました。
-----	---

取り扱い	
------	--

配布場所	滋賀県政記者クラブ
------	-----------

問い合わせ	国土交通省 近畿地方整備局 滋賀国道事務所 (TEL 0 7 7 - 5 2 3 - 1 7 4 1 (代)) 副所長 森田 宏 (内 205) 管理第 2 課長 中村 一敏 (内 441)
-------	--

国道 8 号愛知川町内における道路陥没事故の調査結果について

【概 要】

平成 17 年 5 月 28 日に発生した、国道 8 号愛知川町内における道路陥没事故について、国土交通省滋賀国道事務所では、道路陥没調査委員会（委員長：足立紀尚 京都大学名誉教授）を設置し、事故原因の究明と対策について検討を進めてきました。

6 月 15 日（水）に開催された委員会では、陥没は、大阪ガス(株)が道路占用して実施している地下埋設管路工事（シールド工事）による影響が主な要因であり、今後は、空洞調査等を継続して実施するとともに、変位量測定など監視体制を強化することが確認されました。

なお、事故後の緊急調査で、陥没には至らない舗装版の下層部での空洞が 9 箇所見つかりましたが、すでに復旧等の工事は終えています。

【経 緯】

- 5 月 28 日 早朝、愛知川町内で道路陥没による車両事故（貨物トラック等 5 台）が発生。陥没箇所の復旧作業実施
- 5 月 30 日 地中レーダー探査機、ボーリングによる空洞調査（～6 月 2 日まで）（9 カ所の空洞を発見）
- 6 月 3 日 空洞箇所の開削・埋め戻し復旧工事の実施（～6 月 5 日まで）
- 6 月 15 日 事故調査委員会開催
- 6 月 24 日 国土交通省から大阪ガスへの指示（工事継続の条件等）

【原因と今後の対応】

（原因）

旧河道等玉石混じりの砂礫層におけるシールド工事において、シールドマシン内のスクリーコンベア（土砂を搬出するための装置）の閉塞箇所と陥没・空洞箇所の相関性が高く見られる。脆弱な地盤内での、シールド工事による土砂取り込みや振動等による複合的な要因が主な原因と考えられる。

（今後の対応）

シールド工事施工済み箇所については、地中レーダー探査機による空洞調査を実施し、陥没箇所等のボーリング調査による、地中深部の状況等を調査する。

未施工区間のうち玉石混じりの砂礫層では、地山の安定処理を強化するとともに、土砂排出量の管理等、計測・監視体制を強化し、試験施工を実施する。

また、昼間に加え夜間の路面監視・巡回を強化・実施する。

(参考資料)

<委員会の概要>

名称：一般国道 8 号道路陥没調査委員会

開催日時：平成 17 年 6 月 15 日（水） 13：00～

開催場所：国土交通省 滋賀国道事務所

委員名簿

調査委員会		
委員長	京都大学 名誉教授	足立 紀尚
委員	(財)地域地盤環境研究所 所長	橋本 正
委員	NTT インフラネット(株) 関西支店 事業開発本部 土木技術部長	鎌田 敏正
委員	近畿地方整備局道路部 道路管理課長	加藤 俊昌
委員	近畿地方整備局滋賀国道事務所 事務所長	安藤 勲
委員	近畿地方整備局滋賀国道事務所 副所長	森田 宏
委員	大阪ガス株式会社 幹線建設 PJ 部 部長	山本 泰生

調査 WG（ワーキンググループ）		
メンバー	近畿地方整備局 滋賀国道事務所 管理第 2 課長 彦根維持出張所長	中村 一敏 松原 茂
	大阪ガス株式会社 幹線建設 PJ 部 滋賀建設事務所所長 滋賀建設事務所チーフ	相原 敬 渡辺 英敏
事務局	(財) 地域地盤環境研究所 企画室 主任研究員 地盤解析グループ 研究員	有本 弘孝 肥後 陽介

